
経営理念

(1) 優しい心と微笑み

高齢に伴う身体機能の低下は日々の生活に不安をもたらすものである。そうした時に生きている喜びを感じさせるものは、やさしい心が自分に注がれていることを知る時であろう。各施設に於いては、その大切さを充分認識して全ての職員が常に優しい心と微笑みをもって接遇にあたるよう努める。

(2) 豊かな感性の錬磨

利用者が今、何を必要としているか虚弱な方の心の声を聴き、その心を察しなければならぬ。職員は自らの感性を磨き的確な接遇と介護にあたるものとする。

(3) 明朗で規律正しい業務遂行

利用者は勿論のこと、職員間、外来者全てに対して常に明朗で規律正しく接し、ハイと言ふ素直で積極的な態度で業務を推進し又利用者に接することにより、安心と安全そして信頼が生まれる事を知り、全ての職員がそれを励行するものとする。

三つの修養

(1) 正しく見極める英知

職員が日々の業務推進の中で、自分が実践すべく事柄について今、何をどの様な方法で行うべきかの判断を間違え無きように、そして利用者が今、何を求めているか一人一人の個別性を尊重出来るような英知を発揮する事とする。

(2) 受け入れることのできる豊かな心

何事に於いても相手の立場になって考え創意工夫をし、専門知識や技術の向上を目指しながら幅広く見識を深め多様な価値観を大きな心で受けとめられるよう心掛けるとともに、人格を尊重したケア体制を整え、全てのご利用者に明るく安心して過ごして頂ける環境づくりに努めてゆくものとする。

(3) 変えることのできる勇気

介護保険制度下の居宅支援事業・通所介護サービス事業、並びに在宅介護支援事業、そして措置制度下に於ける養護老人ホーム事業を積極的にすすめる上で情報を的確に捉え、合理的かつ有効的に各種業務を進めつつも必要に応じては臨機に体制や方針を変えてゆくことのできる勇気もてるよう研鑽に努める。